

## ◆流通加工対策事業

### 福祉法人発行季刊誌による魚食普及「うちな一魚ッティング」

#### 1. 目的

魚食普及拡大のため、健康志向の強い消費者をターゲットとし、福祉部局など水産以外の組織と連携し県産水産物情報を広く提供する事を目的とした。

#### 2. 方法と結果

沖縄県保健医療福祉事業団より発行されている季刊誌「健康あいらんど」の裏表紙一面に、「うちな一魚ッティング」として県産魚の食材としての魅力発信の監修を依頼されたため、監修を行った。

構成は魚の生態・漁法・肉質説明、レシピ、魚食普及の取組とし、読者が魚・漁業・健康食材のいずれかに興味を持ってくれることを期待した。

今年度の普及活動計画に於いて、魚食普及活動は糸満漁協と連携したものに重点を置いているため、取り扱う魚種は、糸満にて多く水揚げされる水産物、マグロ・ソデイカ・シイラ・メカジキとし、適宜糸満漁協大城栄喜加工課長に監修協力頂いた。

また、レシピにおいては糸満市立保育所の給食献立を作成している屋我明奈管理栄養士に監

#### 水産海洋技術センター 紫波俊介

修頂いた。

同紙は、年4回、各1万部発行され、。市町村、医療機関や銀行、公共機関構内等に設置されていた。

また「うちな一魚ッティング」はポスターにし、市保育所や漁協等に掲示されることとなった。

#### 3. 考察

魚食普及効果においては、取組の性格上判らない。しかしながら当方が行う魚食普及活動へ、市保育所、社会福祉課、沖縄水産高校が以前よりも非常に協力的になった。

「うちな一魚ッティング」への監修には多少の労力を割かなければならなかったが、広告代理店のプロのデザイナーが制作しているため、ポップで見やすく、各所でポスター、説明資料として、魚食普及資料として非常に活用しやすかったため、労力以上の取組だったと思う。

普及員数・事業費共に年々厳しくなるが、管理栄養士・福祉関連組織・デザイナー等、水産以外の組織とうまく連携すれば、低コストで広がりを持った取組を行う事が今後も期待出来るのでは無いだろうか。

-----

